

事業名 生活支援体制整備事業

	課題と考えている内容	今までの取組や令和2年度取組	本事業としての今後の予定や検討している内容	委員にご意見をいただきたい内容
1	地域の課題に気づいているものの、何をすればよいのかわからず、行動に移せていない住民に対してのアプローチが不足しています。	広報誌やSNSを読み、意見や思いを伝えてくださる住民に対して、丁寧に話を聴き、その方が何かをやってみたいという思いになった時には、一緒考え、活動を支援してきました。	地域で活躍している住民の様子をICTツールやSNSを活用し、広く知ってもらう機会を増やしたいと思います。 (例:住民の勉強会をZoomで配信)	高齢者のICTツール活用を拡げるために必要なことを教えていただきたいです。
2	専門職が、活動してみたいと思っている住民を「新たな担い手」と捉えてしまい、住民に負担をかけてしまうことが課題と考えます。 住民の意欲や興味に沿った活動ができるよう支援するのが専門職の役割だと思います。 地域づくりを進めるうえで、住民の意見の反映がまだ少ないと思います。	生活支援コーディネーターが考える「地域像」を提示しすぎず、まずは住民が思う「こんなことしたい」「こうなったら嬉しい」という地域と一緒に考える方法を取り入れてきました。 常に「住民主体」を念頭に置いています。	住民が安心して発言・行動できる場をつくるお手伝いをしたいと思います。住民が興味のあることを学び、専門職の話を聞くだけでなく、地域をどうしていきたいかを語り合う場をつくる支援をしています。	住民の意見を取り入れる良い方法があれば、教えていただきたいです。